

日本臨床検査専門医会

平成 30 年度第一回常任幹事会議事録

平成 30 年 2 月 3 日

# 日本臨床検査専門医会 平成 30 年度 第一回常任幹事会議事録

開催日時：平成 30 年 2 月 3 日(土曜日)15:00～16:20

開催場所：日本臨床検査専門医会事務局

出席者：登 勉 会長, 佐藤 尚武, 〆谷 直人 各副会長,

東田 修二, 五十嵐 岳, 東條 尚子, 盛田 俊介, 米川 修 各常任幹事,

土屋 達行 監事

欠席者：古川 泰司, 宮崎 彩子 各常任幹事, 佐守 友博 監事

事務局：市川 綾子

(敬称略)

定刻、登勉会長挨拶の後、議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

## [審議事項]

### 第1号議案 議事録署名人選任について

議長は、本会の議事録署名人の選出を議場に諮り、下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：五十嵐 岳 常任幹事, 東條 尚子 常任幹事

## [報告事項]

### 1. 平成 30・31 年度役員について

登会長より平成 30, 31 年度役員および関連団体委員について以下のとおり報告があった。

会 長：登 勉

副 会 長：佐藤 尚武, 〆谷 直人

庶務・会計幹事：東田 修二

常任幹事：五十嵐 岳, 東條 尚子, 古川 泰司, 宮崎 彩子, 盛田 俊介, 米川 修

監 事：佐守 友博, 土屋 達行

全国幹事：藤井 聡, 植木 重治, 浅井 さとみ, 久川 聡, 増田 亜希子, 松下 一之,

伊藤 弘康, 木村 秀樹, 中村 文彦, 日高 洋, 長井 篤, 横崎典哉, 大澤 春彦,

松村 敬久, 橋口照人, 松井 啓隆

日本臨床検査医学会連絡委員：東田 修二, 登 勉

J C C L S 委 員：高木 康

WASPaLM 委員： 〆谷 直人, 登 勉

内 保 連 委 員： 古川 泰司, 佐藤 尚武

臨床検査専門医・管理医審議会委員： 佐藤 尚武, 東田 修二(学会)

臨床検査振興協議会理事： 登 勉, 高木 康(平成 30 年 3 月まで), 〆谷 直人(平成 30 年 4 月より)

臨床検査振興協議会広報委員会： 五十嵐 岳, 木村 聡

## 2. 平成 30・31 年度委員会および委員について

登会長より平成 30, 31 年度各種委員会委員について以下のとおり紹介があった。

- ・ 情報・出版委員会： 盛田 俊介委員長  
五十嵐 岳, 出居 真由美, 信岡 祐彦, 福地 邦彦, 吉田 博各委員
- ・ 教育研修委員会： 米川 修委員長  
浅井 さとみ, 萱場 広之, 小林 礼, 東田 修二, 宮崎 彩子, 山崎 正晴各委員
- ・ 資格審査・会則改定委員会： 東條 尚子委員長  
金子 誠, 狩野 有作, 康 東天, 菊池 春人, 谷口 信行, 田部 陽子各委員,  
土屋 達行 (アドバイザー)
- ・ 広 報 委 員 会： 五十嵐 岳委員長  
上菘 義典, 尾崎 敬, 高木 潤子, 田部 陽子, 千葉 泰彦, 西川 真子,  
増田 亜希子, 山本 絢子各委員, 木村 聡 (アドバイザー)
- ・ 渉 外 委 員 会： 〆谷 直人委員長  
浅井 さとみ, 五十嵐 岳, 東條 尚子, 日高 洋, 横崎 典哉, 吉田 博各委員
- ・ 保険点数委員会： 古川 泰司委員長  
鷹野 壽代, 谷口 信之, 松下一之, 三井田 孝, 山口 勇人, 横山 直之各委員  
佐藤 尚武 (アドバイザー)
- ・ ネットワーク運営委員会： 宮崎 彩子委員長  
河野 誠司, 鯉淵 晴美, 佐守 友博, 増田 亜希子, 山口 宏茂各委員,  
土屋 達行委員 (学会より)

## 3. 各種委員会報告

### ①情報・出版委員会

盛田 俊介委員長より,

委員会メンバーについては、昨年末で清水先生, 増田先生が退任, 今年は要覧作成の予定があるため, 経験のある方に引き続きお願いした。退任メンバーの後任については, 候補がなければ2. での紹介通りの委員ですすめていく旨報告があった。

## ②教育研修委員会

米川 修委員長より、以下のとおり報告があった。

- 1)平成 30 年度第 28 回日本臨床検査専門医会春季大会(松本：大会長 本田孝行先生)  
5 月 11 日(金)生涯教育講演会専門医講習(医療安全)

1.医療安全概論

鮎澤純子先生(九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座)

2.医療現場におけるヒューマンエラーの現状と対策

海渡 健先生(東京慈恵医科大学附属病院 中央検査部診療部長/医療安全管理部副部長)

司会:本田孝行先生, 米川 修

- 2)第 87 回日本臨床検査専門医会教育セミナー

会場:帝京大学霞ヶ関キャンパス 日時:5 月 20 日(日)

- 3)日本臨床検査医学会との共催シンポジウム(第 65 回日本臨床検査医学会学術集会)

会場:京王プラザホテル 日時:11 月 15~18 日(学術集會会期中に開催)

タイトル:「新専門医制度元年 一般市中病院での臨床検査専門医の役割」

演者:中村文彦先生(奈良県総合医療センター中央臨床検査部)

村田哲也先生(JA 三重県厚生連鈴鹿中央総合病院中央検査科)

増田亜希子先生(三井記念病院臨床検査科)

三好夏季先生(広島市立広島市民病院臨床検査部)

司会:松尾収二先生(天理よろづ相談所病院), 米川 修

共催シンポジウムの内容については、検討の結果、新専門医制度の開始に合わせ、以上のような内容になったと報告があった。

登会長より、大会長村田先生(慶應大学)の方に、このプログラム内容とコーディネーターは米川先生、と回答する旨発言があった。

佐藤副会長より、生涯教育講演は共通講習の対象になる、3か月前に単位認定申請が必要、と指摘があった。

## ③資格審査・会則改定委員会

東條 尚子委員長より、以下のとおり報告があった。

今年の大きな目標としては、専門医制度の変更に伴い、会則の中の文言を差し替える、という件がある。委員については、基本的に2期お務めになった方は交代、という方針で、新しく2名の先生に委員を、また、土屋先生にはアドバイザー就任をお願いし、継続委員とともに内諾はいただいている。

また、委員会の役割として、新規に入会申込みがあった場合その承認をしているが、1月に入ってからすでに3名の方から申し込みがあり、委員が確定していなかったこの間は、三役

の先生方のあいだで審議をしていただいて入会承認をいただいた。

登会長より、昨年の京都の全国幹事会で確認されたことだが、監事の任期を4年にして、1名ずつ監事が交代するよう、前回選挙で選ばれた土屋先生のところから4年にする、という改定についても対応ください、と発言があった。

#### ④ 渉外委員会

×谷 直人委員長より、以下のとおり報告があった。

委員については、東條先生以外の先生方は2期務めた、ということで、2. で紹介のとりの先生方に委員就任について打診、内諾はいただいた。第35回振興セミナーの演目については、在宅医療と臨床検査との関係、を考えている。厚生労働省の方からH30年度の改定について説明をお願いし、その後技師会と専門医会で、2年後にどのようなことを考えていくかということそれぞれ話し、その後総合討論という流れを考えている。

佐藤副会長より、賛助会員の渉外委員との打ち合わせは実施しているのか確認があり、×谷委員長より、内容について一度、集まって相談する方向で考えていく旨発言があった。

#### ⑤ 広報委員会

五十嵐 岳委員長より、以下の報告があった。

広報委員は4名の先生に新しく加わっていただき、木村聡先生にはアドバイザーで残っていただいてトータル10名で活動予定。

・レジデントノートの連載は4月でちょうど1年になる。テーマの提言や原稿執筆していただける方がいれば紹介してほしい。

・ハンズオンセミナーは、昨年増田先生、学会の広報委員、ライフワークバランス委員と共同で、若手で臨床検査に興味がある人を呼び、実施。若手の入り口として有用かと思う。今年もワークライフバランス委員会主体で続ける予定。

・第65回日本臨床検査医学会学術集会(東京)におけるワークショップの企画

日本臨床検査医学会のワークライフバランス委員会・教育委員会、日本医師会と合同でポスターセッション、ランチセッション、グループディスカッションの3つのセッションに分け参加を呼びかける予定。昨年同様、多くの若手に参加してもらい、臨床検査専門医への興味・理解を深めてもらうねらい。

その他、研修医の学会参加費の補助について、また、医学雑誌への連載、教育セミナー等の関西での開催、フェイスブック等SNSの活用について提案があった。

登会長より、研修医の学会参加費については、学会のライフワークバランス委員会から問題提起してもらって、学会の参加費のほうで研修医枠を作ってもらうようにしてはどうかと発言があった。

## ⑥保険点数委員会

古川 泰司委員長に代わり東田 修二庶務会計幹事から、以下の報告があった。

### 1)11月14日に送付された免疫電気泳動に関する会員アンケートについての報告

- ・有効回答施設数 65, うち 2 件は衛生検査所よりの報告にて除外, 63 施設のうち, 医療機関内で IEP を行っているのは 22%, 診断加算算定施設は 16%にとどまる。数カ所の指導的立場の施設が, IEP を施行せず(または外注運用), 施設内では免疫固定法のみを施行している。
  - ・外注運用施設で特異抗体を用いた検査が必要となる場合の対応  
外注で対応している場合, 特異抗体による検査を同一検体で行う施設と, 別の検査として施行する施設が相半ばしている。運用, 外注業者の対応状況は様々。別の検査として施行する場合は, 2 回目の保険算定が行われている場合が多い
  - ・委託費用(単価)を回答してくれた施設は少数だったが, 数百円~2万円前後まで大きな開きがあった。
  - ・その他の回答内容は現在集計中
- 2)厚労省より, 免疫電気泳動を, 「抗ヒト全血清を用いるもの」と「特異抗血清を用いるもの」とに分けると連絡されている。
- 3)会員アンケートの公表・投稿を行う場合, 点数改定以後になると判断されるので, 専門医会が許可していただければ, 2020年改定に向け, ご回答いただいた同一施設に改定後の対応を再度質問したい。

## ⑦ネットワークシステム委員会

宮崎 彩子委員長に代わり, 土屋 達行監事より以下の報告があった。

- ・メールの不具合の確認のためテストメールを2月の中旬に配信予定。
- ・Q&A の広報のチラシ作成・配布を予定。
- ・春季大会, 学術集会時には専門医会の受付でデモンストレーションを実施していく。
- ・システムの改良を考えているが, デザイン, 見積もり依頼はこれからとなる。
- ・Q&A の各分野のリーダーについては今年度から新たなリーダーを決めたい。

## 4. 「全国検査と健康展」報告

〆谷 直人副会長より, 2 月初めに日本臨床衛生検査技師会の担当者に行った際に, 今年の開催について挨拶をしたところである, と報告があった。

登会長より, 今年の主会場は東京である旨発言があった。

## 5. 臨床検査専門医・管理医審議会報告

東田 修二庶務会計幹事より、以下の報告があった。

審議会は昨年(2019年)の12月23日に臨床検査医学会事務所で開催。11月の管理医試験の合格者19名が承認された。今年度の専門医認定試験は8月3日(土)・4日(日)に帝京大学で実施予定。管理医試験は例年11月に行っていたが、専門医認定試験と同時に行うべきとの意見が出た。重複する試験委員や事務の負担軽減と、管理医試験受験者に専門医試験の受験を意識させるため同一日程で開催することとなった。

## 6. 第28回日本臨床検査専門医会春季大会

本田 孝行大会長に代わり東田 修二庶務会計幹事より、5月11日、12日に信州大学で開催予定である旨報告があった。

## 7. 平成30年度行事予定

東田 修二庶務会計幹事より、資料1に基づいて平成30年度の行事予定が報告された。

## 8. 平成29年度決算について

東田 修二庶務会計幹事より、資料2に基づいて平成29年度会計報告がなされた。

会費納入率88%ということで、ほぼ例年どおりでここ数年やや低い傾向にある、賛助会員会費は未納が2社あるが、そのうち1社は1月4日付けで振込みがあった。また、監査の際、高木康監事より、予算に対してほとんど支出のない項目があるが、事業見直しと予算計上について検討してほしい、振興セミナーの際の情報交換会の費用が高いので、これを検討してほしい、会費の徴収を徹底する方策を考えてほしい、という指摘があった、と三宅 一徳 前庶務会計幹事から連絡があった旨報告された。また、1月に監査は終わっているが、決算報告の数字に一部誤りがあり、訂正しているため、このあと署名をいただいて完了する形になると報告された。登会長より、3年を超えて会費を納入していない会員に対して、今まで積極的に徴収はしていないという形できているので、その数がどのくらいで推移しているか調べ、今後どうするか詰めていきたい、と発言があった。

## 7. 全国医学部臨床検査医学教育実態調査について

登会長より、一部数字について確認しなければならないところがあり、まとめに時間がかかっている、秋には何らかの報告をしたいと考えている、と発言があった。

[審議事項]

第2号議案 臨床検査振興協議会「遺伝子関連ゲノム医療に関する小委員会」への委員の派遣

議長より、熊本大学の松井先生、登会長の2名の推薦候補が挙がり、その賛否を諮ったところ満場一致で賛成された。また、在宅医療小委員会で、超音波検査についての議論のために委員の追加推薦が必要、とのことで、高知大学の松村先生が推薦され、満場一致で賛成された。

第3号議案 日本専門医会事務局規約について

議長は、事務局規約について東田 修二庶務会計幹事に説明させた。東田幹事より、ゆうちょ銀行の名義変更の際、口座名義が「日本臨床検査専門医会 事務局」となっているので、事務局の存在を明文化する必要があるため、ゆうちょ銀行から提示されたひな形に従い、資料3の規約案を作成したことを述べ、その承認を議場に諮った。満場一致で承認された。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 30年 4月 9日

五十嵐 岳

---

平成 30年 4月 13日

東條 尚子

---



平成30年度 日本臨床検査専門医会 年間行事予定表(平成29年2月3日現在)			
日 時	内 容	開 催 場 所	担 当 責 任 者
2月3日(土) 15:00～	第1回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務会計幹事
5月11日(金)～12日(土) 11日13:00～14:20 11日14:30～16:30 12日11:10～12:00	第28回日本臨床検査専門医会春季大会 第1回全国幹事会 第8回生涯教育講演会 第52回日本臨床検査専門医会総会	信州大学医学部附属病院(松本)	本田 孝行教授 庶務会計幹事 教育研修委員長 庶務会計幹事
5月20日(日)	第87回教育セミナー	帝京大学・霞ヶ関キャンパス	教育研修委員長
7月20日(金) 14:00～17:00	第35回臨床検査振興セミナー	東京ガーデンパレス	渉外委員長
9月29日(土) 15:00～	第2回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務会計幹事
11月11日(土)	臨床検査の日 日本臨床衛生検査技師会:全国検査と健康展	未定	全国検査と健康展担当副会長
11月15日(木) ～	第65回日本臨床検査医学学会学術集会 第2回全国幹事会	京王プラザホテル(東京)	村田 満教授 庶務会計幹事
11月18日(日) 12月15日(土) 15:00～	第53回日本臨床検査専門医会総会・講演会 第3回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務会計幹事 庶務会計幹事

日本臨床検査専門医会 平成29年度決算報告書 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)			
			平成29年12月31日現在
【一般会計】			
収入	入金	10,254,950	28,793,069
詳細は会計帳簿記載	前年度繰越金	18,538,119	
支出	庶務経費	3,648,642	9,676,214
詳細は会計帳簿記載	事業経費	6,027,572	
収支および次年度繰越金			19,116,855
次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座	16,730,218	19,116,855
	残高証明書 別紙		
	三菱東京UFJ銀行口座	2,319,772	
	残高証明書 別紙		
現金	66,865		
【特別会計】			
定期預金	三菱東京UFJ銀行口座		10,000,000
	残高証明書 別紙		
【残高合計】			
次年度繰越金+ 定期預金			29,116,855
			平成30年1月27日
庶務・会計幹事			印
平成29年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。			
			平成30年 月 日
監事			印
			平成30年 月 日
監事			印

平成29年度 決算報告							
		項目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	予算と決算の差		
収入欄	会費	会員会費	6,590,000	5,805,000	-785,000		
		賛助会員会費・寄付金	3,700,000	3,500,000	-200,000		
		小計	10,290,000	9,305,000	-985,000		
	その他入金	広告収入	400,000	251,803	-148,197		
		教育セミナー参加費	400,000	420,000	20,000		
		生涯教育講演会参加費	150,000	188,000	38,000		
		振興セミナー参加費	100,000	88,000	-12,000		
		利息	5,000	2,147	-2,853		
	小計	1,055,000	949,950	-105,050			
	入金合計		11,345,000	10,254,950	-1,090,050		
支出欄	庶務経費	事務所維持費	1,700,000	1,714,532	-14,532		
		人件費	1,500,000	1,453,080	46,920		
		設備費	150,000	147,954	2,046		
		電話・FAX使用料	60,000	54,216	5,784		
		通信費(事務局)	170,000	134,247	35,753		
		事務局雑費	150,000	144,613	5,387		
		小計	3,730,000	3,648,642	81,358		
	事業経費	印刷代	2,000,000	1,310,772	689,228		
		要覧印刷代	0	0	0		
		通信費	800,000	741,705	58,295		
		春季大会補助金	500,000	500,000	0		
		臨床検査振興セミナー費	900,000	848,162	51,838		
		教育セミナー費	700,000	646,810	53,190		
		会議費	1,000,000	1,070,612	-70,612		
		交通費	100,000	105,410	-5,410		
		宿泊費	30,000	31,791	-1,791		
		原稿料	100,000	0	100,000		
		専門医会ネットワーク維持費	180,000	0	180,000		
		HP維持費(広報HP含む)	170,000	143,838	26,162		
		広報活動費(委員会HP)	100,000	27,000	73,000		
		JCCLS会費	50,000	50,000	0		
		WASPALM会費	60,000	51,472	8,528		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0		
		内保連	200,000	200,000	0		
		予備費	425,000	0	425,000		
		小計	7,615,000	6,027,572	1,587,428		
		出金合計		11,345,000	9,676,214	1,668,786	
		収支決算			0	578,736	578,736
		前年度繰越金				18,538,119	
次年度繰越金				19,116,855			

## 日本臨床検査専門医会 事務局 規約

- 第 1 条 (名 称) 本組織は日本臨床検査専門医会事務局と称する.
- 第 2 条 (所在地) 本組織を次の所在地に置く.  
東京都千代田区神田平河町 1 番地 第 3 東ビル 908 号
- 第 3 条 (目 的) 本組織は日本臨床検査専門医会の庶務・会計事務を行うことを目的とする.
- 第 4 条 (構成員) 本組織は日本臨床検査専門医会会長, 副会長, 常任幹事, 監事を構成員とする.
- 第 5 条 (役 員) 本組織には次の役員を置く.  
代 者 1 名: 日本臨床検査専門医会庶務・会計幹事がこの任にあたる.  
監 事 2 名: 日本臨床検査専門医会監事がこの任にあたる.
- 第 6 条 (運 営) 本組織の運営は日本臨床検査専門医会会長の指示のもと, 代表がこれを行う.
- 第 7 条 (事務取扱者) 本組織には若干名の事務取扱者を置く.
- 第 8 条 (財 務) 本組織の財務は代表が管理し, 年ごとに監事の監査を受ける.
- 第 9 条 (改 正) この規約は日本臨床検査専門医会常任幹事会の決をもって改正することができる.
- 第 10 条 (設立年月日) 本組織の設立年月日は平成 22 年 6 月 1 日とする.
- 第 11 条 (規約施行日) 本規約は平成 30 年 1 月 1 日より施行する.